



<p>座間市市民協働課 平成 26.4.30 受付 第 号</p>		<p>相互提案型協働事業実施報告書</p>		<p>平成26年4月30日</p>	
<p>(宛先) 座間市長</p>		<p>団体 住所 座間市相模が丘3丁目66番11号 名 称 特定非営利活動法人 さくら百華の道</p>	<p>代表者氏名 坂本 文彦</p>		
		<p>市 担 当 課 公園緑政課 所 属 長 北川 秀幸</p>			
<p>次のとおり報告します。</p>					
1 事業名	相模が丘仲よし小道再生事業				
2 事業形態	<input type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市提案協働事業				
3 選考年度	24年度選考 (25年度実施)				
4 報告期間	25年4月1日から26年3月31日まで				
5 事業費	2,803,844円(うち座間市支出分2,542,000円)				
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>第4次座間市総合計画の戦略プロジェクトである相模が丘仲よし小道(さくら百華の道)再生事業は第二工区分(430m)の工事を平成25年3月に完了。本年度は第一工区分(360m)と合わせ790mの維持・管理を協働事業提案書で合意したとおり実施することである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一工区、第二工区の緑道に植栽された植物を、その成育段階に対応する適切な育成のための作業を行う 2. 緑道の環境を計画どおり、美しく維持・管理して行く 3. 協働事業における当方が荷う1, 2以外の役割を確実に実行し成果をあげる 4. 組織運営、その他 				
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input checked="" type="checkbox"/> その他(記録写真はCDで添付します。)				

相互提案型協働事業評価シート

事業名	相模が丘仲よし小道再生事業
-----	---------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	<p>所期の目的は、十分達成できましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年の経験を生かして目的をほぼ完全に果たした。 ・協働について、どうあるべきかを双方試行してきた。報告、連絡、相談についても適切で信頼関係を構築した。 ・運営については、おおむね仕組みを構築しつつある。 	<p>昨年度同様維持管理について目的を達成できた。</p>
事業成果・効果	<p>事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何よりの成果は地域において奉仕活動に励む姿を見て理解者が増大していることである。同時に奉仕活動への参加者も徐々に出現している。 ・次に790mの維持・管理の実作業に対し、延べ人数で1600余人が参加したことである。その全てが地域の住民で、その取り組みの姿勢は中学生が俳句に詠むほどの波及力を与えている。 ・具体的に数値化できないが、再生事業始まる前と比し実感としてその増大の様に、目を見張るものがある。 	<p>緑道を美しく維持する活動により沿道や周辺を含めきれいなまちになってきている。</p> <p>また、地域のコミュニティーの場となっている。</p>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画、設計、着工と各段階での協議が住民の意見、苦情等の対処に生きて、適確な対策を協調して出来ていると考えている。 ・具体的には隣接住民との対話や広報活動において発揮されている。 ・景観をどのように創造していくかについても将来を見据えて、共通の認識を確認している。 	一定の共通認識を持つことができた。
事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の進捗途上に発生する種々の突発的な事案に対し適確な解決を求め協調してきた。 ・地域の事情で、スケジュールに遅怠をもたらすことは全く無かった。 	定期的に会合を持つことによりスケジュール管理ができた。
対等な関係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの立場を尊重し、円滑に事業を推進できたと確信している。 	自由な意見交換ができた。
相互理解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは地域の奉仕団体、協働の相手は行政組織。相互に持てる資源を活用する点で、合意が出来ていると理解している。現在のところ不足はない。 	概ねできている。

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <p>①第一、第二工区の植物の育成。樹木の剪定・整枝、施肥、灌水、病虫害対策など</p> <p>②緑道としての環境整備。下草刈、清掃、施設管理など</p> <p>③奉仕者の募集促進及び管理</p> <p>④諸作業の適確で効率的な実務推進</p> <p>⑤緑道利用者及び地域住民への広報啓発活動</p> <p>⑥協働マネジメント</p> <p>⑦その他</p>	<p>(市の役割)</p> <p>・ハード面の整備</p> <p>・危険な作業を伴う作業</p>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	ほぼ適正と認識している。	適正と判断する。
実施結果	設定した役割分担を果たすことができましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に遂行できた。 ・諸作業に従事した奉仕者は延人数で1600名余である。前年度に倍する動員で誇りとした。 ・緑道利用者の増加には、実感として脅威を覚える程である。他地域からの訪問者も増えている。 ・街の活性化に大いに寄与していると自負している。 	果たすことができたが、今後は細かなところをつめる必要があると考える。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・数値に置き換えることが出来ないのが残念である。 ・奉仕活動に対する理解と賛同、行政への信頼と親近感、共に構築されてきていると思いたい。 ・未来を築く協働であることを、もっとアピールすべきと考える。 	きめ細やかな維持管理作業が出来た。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	(団体の考え) 緑道の景観を作り上げていく、その作業は主役である桜木やその他花木や草花と対話していくことである。また、道としての環境を常に美しく維持していくことにある。将来にわたって、それを維持することは当世代だけでは果たせない。今後の最大の課題はそこにあることを共に共有していきたい。	(市の考え) 沿道や周辺を含めたまちづくりに発展させることが必要となる。